

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 技術部会会合(第3回) 議事録

日時:平成 20 年 3 月 11 日(火) 9:30~11:30

場所:秋葉原ダイビル 5 階

出席者

技術部会長 後藤滋樹(早稲田大学)
技術基準検討 WG リーダ 栗野友文(NTT 株式会社)
IP 電話 SWG 主査 千村保文(沖電気工業株式会社)
コンテンツ配信 SWG 主査 小林中(日本電気株式会社)
端末・網 SWG 主査 入部真一(株式会社日立製作所)
相互接続 WG リーダ 中野尚(KDDI 株式会社)
他 36 名

総務省

電気通信技術システム課 竹内課長他
データ通信課 柳島企画官

事務局

情報通信研究機構 伊藤グループリーダー他

配付資料

- 資料 1 平成 19 年度技術基準検討 WG の活動状況および今後の検討について
- 資料 2 相互接続 WG の活動状況について
- 資料 3 第 2 回定期総会報告(案) 技術部会の活動状況について
- 資料 4 情報通信審議会 IP ネットワーク設備委員会の活動状況について
- 参考資料 1 技術部会(第 2 回) 議事録
- 参考資料 2 技術部会 設置要綱
- 参考資料 3 技術部会 構成員一覧
- 参考資料 4 第 2 回定期総会イベントの開催

議事内容:

1. 開会(事務局)

2. 総務省挨拶(竹内課長)

フォーラムが立ち上がって 2 年が経過し、この間本部会においてはネットワークの技術面について検討を行っていただいた。その成果は OAB~J-IP および 050-IP(案)となっている。本部会では、ネットワークの IP 化が進む中で特にプライオリティの高いテーマについて議論いただいており、継続する検討テーマは残っているが、今月の NTT 東西によるフレッツ光ネクストの開始で一定の整理ができたのではないかと考えている。

今後の活動としては以下の 3 点が考えられる。

- ・ コンテンツ配信、IPTV など国際標準の動向を踏まえた検討
- ・ ITU-T ベースのインターフェイスによるサービス提供による新たな課題の検討
- ・ 他部会との連携

昨年 9 月には IP 端末部会が設置され、ベンダー・キャリア・ユーザの責任分担、端末の相

互運用性確保のためのテストベッドや実験結果のフィードバックの方法についての検討が開始されている。また、来月には IP ネットワークを使った利活用事例を共有し、実証実験を行ってビジネスモデルを検討する部会の新設が検討されている。他部会と連携には関係者のコンセンサスをとることが重要であり、それぞれの立場での意見をいただきたい。制度面の改正については、総務省で速やかに対処していきたい。

3. 配布資料確認

事務局より、配布資料の確認がなされた。

4. 議事

(1) 技術基準検討 WG の活動報告及び今後の活動計画について

資料1に基づき、技術基準検討 WG 栗野リーダより説明

各 SWG の詳細については、IP 電話 SWG 千村主査、コンテンツ配信 SWG 小林主査、荻谷委員、端末・網 SWG 入部主査より説明

質疑応答: 特になし

(2) 相互接続 WG の活動報告及び今度の活動計画について

資料2に基づき、相互接続 WG 中野リーダより説明。

質疑応答: 特になし

(3) 第2回定期総会報告について

資料3に基づき、後藤部会長より説明。

決定事項:

第2回定期総会説明資料について承認された。

(4) その他

情報通信審議会 IP ネットワーク設備委員会の活動状況について

資料4に基づき、総務省より説明

質疑応答: 特になし

次回の予定について

事務局より説明

- ・ 次回会合は、来年3月を目途に開催予定である。詳細は WG の状況を踏まえ、別途連絡する。

第2回定期総会について

参考資料4に基づき、事務局より説明

5. 閉会 (後藤部会長)

以上